

農協名	農協	支所
-----	----	----

○家族構成と家族労働力について、数値または該当する回答欄に○印をご記入ください。

①経営主の年齢	才	④後継者の有無	有	無	未定
②家族人数	人	⑤後継者の年齢	才		
③うち農業従事人数	人	⑥後継時期（予定含む）			

○今までの取組と今後の取組について

1 平成28年度に「別海町農業・農村振興計画」を策定し、令和3年度に中間年の見直しを行いました。それから5年目を迎え本町農業の現状、国及び北海道の情勢変化等を踏まえて、このたび新たな「別海町農業・農村振興計画」を策定します。

そこで、あなたが持続的な農業生産を可能とし、別海町で満足度の高い生活を送る上で必要な農業・農村の振興策について、今後5年間で重点的に取り組むべき事項を伺います。該当する回答欄に○印をご記入ください。

(1) 農業生産・経営

項目	R3～R7年の取組評価			今後の取組方向		
	前進した	不変	後退した	強化すべき	現状どおり	縮小すべき
① コントラクター、TMRセンターなど地域支援システムの増強						
② 高品質な生乳生産の差別化、地域資源を活かした商品化、地域ブランドの創出						
③ 既存の乳業会社との提携など各種取組の推進						
④ 草地更新など生産基盤整備の円滑な実施						
⑤ 研修牧場の充実など新規参入者の育成と確保						
⑥ 家族協定による女性や後継者の位置づけの明確化						
⑦ 肉牛の生産振興						
⑧ 農協組織の体制・機能強化						
⑨ 負債対策						
⑩ その他 ※具体的にご記入ください ( )						

(2) 農業環境・資源保全

項 目	R3～R7年の取組評価			今後の取組方向		
	前進した	不変	後退した	強化すべき	現状どおり	縮小すべき
① 資源循環や環境負荷軽減のためのふん尿処理施設の整備						
② 町内一円を対象としたふん尿堆肥の需給・流通調整システムの確立						
③ 農場段階での衛生管理の普及・指導の推進と、防疫対策の強化						
④ 「牛」－「草」－「土」の自然循環機能を利用した環境と調和のとれた酪農の推進						
⑤ 土地基盤を生かした集約放牧などによる飼料自給型酪農の推進						
⑥ 土砂流出を防止する緩衝林・河畔林、水質浄化機能を有した暗渠排水や排水路など環境保全施設の整備						
⑦ 畜舎等洗浄排水の処理施設の普及						
⑧ 家畜排せつ物のバイオマスエネルギー利用など地域資源の高度利用の推進						
⑨ エゾシカ・カラスなど野生鳥獣害対策の強化						
⑩ その他 ※具体的にご記入ください ( )						

(3) 農村づくり（生活環境、景観形成）、消費者や他産業等との連携や交流

項 目	R3～R7年の取組評価			今後の取組方向		
	前進した	不変	後退した	強化すべき	現状どおり	縮小すべき
① 農場周りの景観や計画的なレイアウトによる農場の整備						
② トイレの水洗化や花壇の整備など農村生活の環境整備						
③ グリーンツーリズム・酪農教育ファームなど都市・農村交流の促進						
④ 消費者への情報発信や結びつきの強化						
⑤ 農家チーズなど農畜産物の加工・販売の推進						
⑥ 農家レストランなど農村女性の起業化の推進						
⑦ 酪農・畜産物の地産地消の推進						
⑧ 水産業・観光業など他産業との連携と相互理解の促進						
⑨ その他 ※具体的にご記入ください ( )						

○別海町の農業・農村の問題点及び今後の方向性について

2 別海町では都市農村交流の推進に向けて、以下のような取組が考えられますが、各取組に対するお考えをお聞かせください。

項 目	非常に必要	どちらかといえば必要	不要
①生産者と消費者が直接ふれあえる産地直売所などの「場」づくり			
②交流活動・文化活動の中心となる地域のリーダー育成など魅力ある「人」づくり			
③地域ブランドの創出や、地元農畜産物を使った魅力ある「食」づくり			
④別海町が有する魅力の再評価と、観光資源としてのPR活動の展開			
⑤観光客向け宿泊施設や娯楽施設の充実			
⑥都市農村交流の基点となるグリーンツーリズム関連施設の整備			
⑦酪農体験など地域農業への理解を深める取組の推進			
⑧豊かな自然環境の保全・再生や美しい農村景観づくり			
⑨教育や医療、介護の場としての農山漁村の可能性を創出			
⑩開拓・入植期から残されている歴史的・文化的な景観や施設の保全			
⑪情報通信基盤等の整備による情報化社会への対応の強化			
⑫その他 ( )			

3 魅力ある農村づくりに向けた別海町の方向性について、上位3つ以内に○印をご記入ください。（設問は次ページに続きます。）

項 目	回答欄
① 農産加工や直売、地域ブランドの創出などのアグリビジネスの展開、農業を核とした産業クラスターや観光産業と連携した交流産業など <b>【地域資源を活用し、経済が活性化している農村づくり】</b>	
② 豊かな自然や広大な居住空間など農村が持つ「ゆとり」に加え、情報通信基盤や医療体制が整備された <b>【快適で安心な暮らしが実現されている農村づくり】</b>	
③ 豊かな自然、美しい農村景観、伝統文化、地域の歴史や食文化を活かした <b>【地域住民のみならず都市住民にも魅力ある農村づくり】</b>	
④ 農地や農業施設、排水処理施設など、地域資源を適切に保全管理し、安定した生産活動を確保するなど <b>【農業生産基盤を維持し、次世代へ安心して継承できる農村づくり】</b>	
⑤ 農業体験等のグリーンツーリズムや、教育の場としての農村の活用など <b>【都市との交流や情報発信が活発で開放的な農村づくり】</b>	
⑥ 地域内の雇用と所得を確保し、若者や子供が将来にわたって定住できる地域社会を実現するとともに、積極的に移住を受け入れるなど <b>【地域人口の減少を抑制し、集落機能の維持や再生を図る農村づくり】</b>	
⑦ 若者からお年寄りまで多様な個性を尊重し、住民同士の交流が盛んで住民が主体となってまちづくりに参画するなど <b>【住民が地域に誇りを持ち、生き生きと暮らしていける農村づくり】</b>	

⑧ 太陽光など自然エネルギーや未利用バイオマスの地域内利活用の拡大、地域循環システムの構築など 【自然との共生や、環境との調和を目指した農村づくり】	
⑨ その他 ( )	

4 あなたの農場・農場周辺の環境や景観について、該当する回答欄に○印をご記入ください。

項 目	回 答 欄	
①防風や景観形成のための農場・住宅周辺の植林	植林している	植林していない
②農場周辺の雑草	雑草を取り除き、綺麗にしている	農場周辺の草刈が不十分で雑草が繁茂している
③農場の景観への配慮	花壇や芝生により景観に配慮している	景観にあまり配慮していない
④不要な農業機械や車両	不要な機械などは表に置いていない	不要な機械などが置いたままになっている
⑤農場の案内看板	案内看板を設置している	案内看板を設置していない
⑥不要な廃屋やサイロ	不要な施設は撤去している	不要な施設を撤去していない
⑦畜舎周辺	道にぬかるみや凹凸がないようにしている	道にぬかるみや凹凸がある
⑧老朽化した農場内の施設	補修やペイントで景観維持に努めている	補修やペイントはしていない

5 別海町の生活環境について、特に整備・充実が必要なもの上位3つ以内に○印を記入願います。

項 目	回答欄
① トイレの水洗化など生活排水の整備	
② 集落を流れる河川など、公共水域の水質改善	
③ 集落の市街地や住宅周辺の家畜ふん尿臭の解消	
④ 集落の森林・河川・沼などの自然・水辺環境の保全	
⑤ 生活道路沿いの緑化や花壇の設置、農村公園の充実など集落景観づくり	
⑥ 農業用水利施設沿いの植林等、環境に配慮した土地改良施設の保全管理	
⑦ 都市と農村の交流のため、農業体験施設などの充実	
⑧ 地域の伝統文化の伝承	
⑨ 地域の開拓の歴史を伝える建造物などの保存	
⑩ 地域活動を行うための集会・運動施設などの充実	
⑪ 安心して暮らせる介護サービスや医療提供体制サービスの充実	
⑫ 情報通信技術（IT）を活用するための環境整備	
⑬ その他（ ）	

6 衛生管理の徹底について、生産現場の環境における問題点を、上位3つ以内に○印をご記入ください。

項 目	回答欄	項 目	回答欄
①消毒槽の設置と管理		⑧飼槽構造（コーティング等）	
②畜舎内の換気		⑨畜舎等洗浄排水の処理	
③畜舎内の整理整頓		⑩家畜ふん尿の処理	
④畜舎内の衛生管理		⑪害虫の発生	
⑤牛体の衛生管理		⑫悪臭の発生	
⑥ミルク配管の衛生管理		⑬病気の発生	
⑦飲水機器の衛生管理		⑭その他（ ）	

7 別海町は国営環境保全型かんがい排水事業等により、環境保全型農業を推進していますが、環境負荷の軽減のため、現在取り組んでいる（または今後取組を検討している）農業生産活動について、該当する回答欄に○印をご記入ください。（複数回答可）

項 目	現在	今後
① 家畜ふん尿処理施設の適正管理と老朽化による流出事故防止		
② 草地面積に対して適性な飼養密度での放牧		
③ 堆肥の完熟化による草地散布時の環境負荷軽減		
④ 牛舎排水浄化処理施設の設置による水質汚濁防止		
⑤ 廃プラなど農業資材の適正な処理と廃棄		
⑥ 牧場内における河畔林の植樹		
⑦ 農薬や肥料などの使用減量による環境負荷軽減		
⑧ 地域の未利用バイオマスを有効活用した農業生産活動		
⑨ 環境保全への意識啓発や情報収集		
⑩ その他（ ）		

8 野生鳥獣による被害について、具体的にどのような被害にお困りですか。上位3つ以内に○印をご記入ください。

項 目	回答欄
① エゾシカによる牧草の食害	
② エゾシカの脱落角による草地での機械作業への支障	
③ カラスによる牛への傷害	
④ 野犬による牛への傷害	
⑤ 野生動物による家畜伝染病の伝播	
⑥ その他（ ）	

9 野生鳥獣対策で必要だと思うことを、上位3つ以内に○印をご記入ください。

項 目	回答欄
① 広域・横断的な鳥獣被害対策	
② 捕獲した有害鳥獣の有効活用	
③ 地域における指導者や猟師の育成・確保	
④ 計画的な個体数調整	
⑤ 牧草地や畜舎への侵入防止策	
⑥ その他 ( )	

○農業経営の将来について

10 今後5年間の経営展開方向について、どのようにお考えですか。(複数回答可)

項 目	回答欄
① 飼養管理・飼料生産費削減、購入飼料費削減、牛の健康増進による衛生費削減、繁殖成績の向上などによる低コスト経営	
② コントラクターやヘルパーなどの外部農業支援組織を活用した、労働負担軽減によるゆとりある経営	
③ 子牛の哺育を育成専門農家に預託した分業型の経営	
④ 法人化やメガファームなど効率化を図った大規模な経営	
⑤ 草地基盤を生かした放牧などによる飼料自給型の経営	
⑥ 家畜ふん尿の堆肥化と適正な散布などによる自然環境に配慮した資源循環型の経営	
⑦ ファームイン、農産加工(6次化)などを導入した多角的な経営	
⑧ 有機畜産物のJAS認証を取得するなど付加価値を付けた経営	
⑨ 搾乳ロボットや哺乳ロボットなど新技術の導入によるスマート農業経営	
⑩ 現状維持	
⑪ その他 ( )	

○国の新たな「食料・農業・農村基本計画」について

令和7年4月に国の新たな「食料・農業・農村基本計画」が策定され、酪農畜産分野においては以下のような方向性が示されました。

(1) 農業の持続的な発展及び食料の安定供給の確保に関する施策

- ① 地域の実情に応じた国産飼料の生産・利用拡大の促進
- ② 生産コスト低減・生産性向上の促進
- ③ 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化の推進
- ④ 力強く持続可能な農業構造の実現に向けた担い手の育成・確保
- ⑤ 農地の確保及び適正利用・農業生産基盤の保全整備
- ⑥ 農業生産活動における環境負荷軽減等の促進
- ⑦ 国産農畜産物の消費拡大、食育の推進を通じた国民理解の醸成

(2) 農業の振興に関する施策

- ① 多様な人材が関わる機会の創出と人が住み続けるための条件整備
- ② 多面的機能の発揮の促進のための共同活動の推進
- ③ 付加価値向上に向けた農産物及び事業の創出

11 国が示した基本計画に対し、別海町が、今後最も力を入れ取り組むべき「農業の持続的発展に関する施策」について、該当する回答欄に○印をご記入ください。

(1) 農業の持続的な発展に関する施策

項 目	回答欄
① 地域の実情に応じた国産飼料の生産・利用拡大の促進（輸入飼料への過度な依存からの脱却、草地整備・改良、コントラクター・TMRセンター等外部支援組織の運営強化、スマート農業技術や新品種開発・普及等の推進）	
② 生産コスト低減・生産性向上の促進（スマート農業技術の活用、新技術開発等による飼養管理技術の向上、飼養期間の長期化（長命連産性の向上）、データを活用した経営改善、施設整備・機械導入による生産性向上の促進）	
③ 需要構造等の変化に対応した生産基盤の強化と流通・加工構造の合理化の推進（肉用牛・酪農の生産拡大など畜産の競争力強化、新たな需要に応える園芸作物等の生産体制の強化、農業生産工程管理の推進と効果的な農作業安全対策の展開、良質かつ低廉な農業資材の供給や農産物の生産・流通・加工の合理化）	
④ 力強く持続可能な農業構造の実現に向けた担い手の育成・確保（新規就農者の育成・確保に向けた総合的な支援、農業経営の法人化・基盤強化の推進、雇用労働力の確保、女性が働きやすい環境整備、外国人材の確保の推進）	
⑤ 農地の確保及び適正利用・農業生産基盤の保全整備（地域計画に基づく担い手への農地の集積・集約化による農地の総量確保と適正な利用、荒廃農地の発生防止、農道等の農村インフラの強靱化、継続的な農業生産活動に資する防災・減災対策の推進）	
⑥ 農業生産活動における環境負荷軽減等の促進（化学農薬・化学肥料の使用低減、有機農業の推進、家畜排せつ物の適正管理と有効利用・循環資源化、温室効果ガス排出削減対策、アニマルウェルフェアへの対応の促進）	
⑦ 国産農畜産物の消費拡大、食育の推進を通じた国民理解の醸成（消費者ニーズを捉えたプロモーション活動や畜産物等の魅力発信による消費拡大活動の推進、学校等での食育の強化、経済性志向または簡便化志向の変化に伴う大人の食育の推進、国民の食卓と農業生産現場の距離を縮める取組の拡大）	
⑧ その他（ ）	

